

災害弱者の

「個別避難計画」策定を急げ

Q 「個別避難計画」策定に当たって、新たに取り組んでいることは何か。

A 平時時から消防や民生委員など避難支援などの関係者へ情報提供するため、名簿に登録された本人の同意が必要となります。このため、意向調査を実施し、同意をいただいた方に対し、個別避難計画作成に向けさらなる取り組みを行ってまいります。

Q 誰一人として取り残さない「個別避難計画」の策定を急ぐ必要があると思うが見解は。

A 令和4年度に実施した避難行動要支援者の情報提供に関する調査において、同意をいただいた方から順次計画作成に向けた取り組みを行ってまいります。

出産・子育て伴走型相談支援を万全に

Q 「出産・子育て応援交付金」を使った「出産・子育て応援支援事業」をどのように

A すべての妊娠婦・子育て世代が安心して出産・子育てができるよう、妊娠時から出産・子育てまで身近な伴走型の相談支援と経済的支援を組み合わせた形で支援を行うことにより、必要なサービスに結びつくことが可能となり、環境整備が図られるものと考えております。



お子さん連れで子育ての説明を受ける保護者

Q 国は妊娠時から出産・子育てまで一貫した伴走型相談支援を充実するとしているが、香取市における伴走型相談支援の内容はどうなるのか。

A 妊娠届出時に出産・育児などの見通しを立てるための面談、妊娠8カ月には、出産後の見通しや過ごし方、利用可能な支援サービスなどを一緒に確認するための面談や電話連絡を行っています。また、出生後には、新生児訪問などを行い、養育者の状況に応じ



たしろ かずお 田代 一男 議員

必要な情報提供などを行っています。

「おくやみ窓口」の設置を

Q 妻を亡くされた方から「市役所での死亡手続きに時間がかかった」との声が届いた。死亡届など死亡後の手続きには、どのようなことがあるのか。

A 現在、亡くなられた方のご遺族や葬儀会社などから死亡届が提出された後、死体埋火葬許可証および火葬場使用許可証を発行しています。また、今後の各種手続きについての「案内書」および「お知らせ」もお渡ししています。書類を事前にお渡しすることで、手続漏れを防ぎ待ち時間の短縮を図っています。

Q 高齢化に伴い手続きをする親族の負担が大きいです。香取市にも「おくやみ窓口」の開設が必要だと考えるが、見解は。

A 「おくやみ窓口」の開設は、市役所1階をワンフロアの総合窓口方式として捉えていること、庁舎の構造、スペースなどの課題を整理する必要があります。まず、現在のワンフロアでの手続に関し、負担が少しでも軽くなるよう関係各課と調整し、窓口でご遺族の方にお渡しするお知らせなどに必要に応じ個別に窓口で対応を行う旨の記載を新たに加えることについて、検討を進めてまいります。

小見川大橋の四車線化・国道356号バイパス整備は

Q 伊藤市長はこの10カ月間、再生土規制条例の制定、給食費の一部無償化や水稲飼料用米助成金の増額等、いろいろな選挙公約を実現させた。私は客観的に判断して及第点を与えられると思う。また市長の選挙公約である小見川大橋の四車線化の経緯、現状、今後の整備予定は。

A 成田小見川鹿島港線は、道路が狭隘であり線形が不良であることから、整備促進協議会を通じて要望活動をしており、現在は、上ノ台交差点において拡幅工事が進められています。小見川大橋については、朝夕などに慢性的に渋滞が発生している状況であるため、その解消に向け引き続き県へ要望してまいります。

Q 国道356号小見川大橋から津宮までのバイパスに係る経緯、現状、今後の整備予定は。



国道356号バイパス整備が急がれる

Q 今後における具体的な集客対策は。

橋ふれあい公園パークゴルフ場の集客状況は

Q オープンから現在までの集客状況は。

整備の要望を続けております。令和4年度については、10月に県に対し要望活動をしてまいりました。県においては、当該区間の事業計画案を取りまとめ、現在、パブリックコメントを実施するなど、令和5年度の新規事業化に向けて取り組んでいるとのことです。



たかぎ ひろし 高木 寛 議員

令和5年度行政組織の一部改正は

Q 今回の主な改正点及びそのセールスポイントは。

A 令和5年度の行政組織については、政策課題等に対応した組織へ再編することとし、4つの部において再編を実施します。内容としては、市民課を総務部に編入し、デジタル技術の活用によるさらなるサービス向上と業務効率化を検討いたします。また、経営企画部を総合政策部へと名称変更し、秘書広報課内にシニアプロモーション推進室を設置いたします。次に、市民と連携・協働し地域振興を図るため、市民協働課を生活経済部へ編入いたします。また、子育て世代包括支援センターをこども家庭センターとします。

意見 伊藤市長の選挙公約である山田・栗源支所での出生届、死亡届受付は今後可能なのか。市長の選挙公約の更なる実現のため、職員の方々の対話、協議を強く望みます。